



園部共同作業所 だより

國部共同作業所發行

〒622-0011
京都府南丹市園部町上木崎
町入道32
電話0771-62-3249
FAX0771-63-2941

NO 69

しはたでくきやテ張でいばめの のと者かきが経ン光日く光嵐たン休と身迎をい温たい
て、よいると仲ンつすまら、杉さで稼のらなら済マ客のし客山山到はなにえして暖し暑つ
て、貴。つ作し間ドて。しく仲山てすい皆京いそは天が嵐てがな々来まり、て、化、いい
標重 も業たのぐら皆たの間所園題なと拝所表皆ラれさが間の長部共に紙こ見ニ情さスるん、園みなん
ありをでて、伝のど子元久をさんを作まお、いスわいのは気し離んを作す借今まなつき製、でぶれ、は業
より回しどてい品ス頑りてじ所

「法障害者地域で自立支援する生活を保健所するの立地にみに組み自らのため」

と課ス ま統思導の設ツ体網もへな課町す施る神なま丹必生サ害障き々い強とを知法 いPかりみ保のる立経う
と、い題のそす工いなあやト制羅、南ネ題・し設た三りす保要活！同害とがま化②な的是はごとRを組状健課_支ちに
①うに環境こで、こうした境面をベー取り組スに、ラすか、
福觀点どうで就考え組スをまむに、
大も深方地をした内保ト理係中がさ害身、所すしスレ度ら地。主労す精①じいせかうとのに域法し施
学つい々元本て総の健ワに機で存んを体他管よて資べにて城障な支た神三のまでせと、現つ生」た行
校て理へに年一合閑所！向閑も在のサ・の内ねい源ル応い、で害柱援めの害う等下解のは四ほ的係にクけの施し入ボ知圈を。くののじく、のとのの制(もさと技、月つな機おのた地設て・)的域見で質提様、にいあな抜一度身に、ある熟術障にと支関い存熟域・い通ト・と渡、金供々三はきるつ本元格体、り伝い指害創济援をて在心の市ま所す精異し南がとな障、い方て的化差・新

府とイコ就ブか見援者とのと1もソ障に勞めの製ルた校 行品と月所セ舗市日展施支所す検れ就在る張増きサさ内シアク1労役らががを就こタとケ害管支て十品製だとさつ販南かしルで内十示設援と。討る労宅方つ加や1れ若て養応チ支に、多欲結労ろ収に1者内援い二の品きタラて売丹らま“あ一販の策しこ策方し、々てのすびて手い成援へ援な年くしぶに、集、ト就七策ま月作の、イにいを総はしをる西月売参とてれ等々た養や既支くスい芸ま研団南のつ明寄いパは障と就を労ハとす開成開既ア、ます合、た販ス友ニを加し、にがへい護、に援する術す。修丹たてけせとイ、害分労行に三し。始技発にツ伝する序亀。売ペ”十行にて①対必のと校施就②る使方家③をのわめいからうのブ企の析先いつ事てまを術を、ブ統べ舗岡新店1隣ニうよ、賃し要支考新卒利さ宅めてでにこ行ボくのたられ企役業あを開、い業はた目指終オさ工く内総たとスの日たり管金、と援え卒業用れで、いさようのうラわジだ、た業等どる行拓こて所、途導えりせ芸準で合にし“空にめ製内増当な等て業備、序十てコキ亀、品十加保り、おで、賃たらる、他、こンくヨけパこのの障方つのれのに八②にを、ジて大備、序十てコキ亀、品十加保り、おで、賃たらる、とテワブるイと意支害々たテをア、月就進こ本ナい学を製舗二開ノ店岡先の四の健まのら、やい頑金だに

寄贈品
（平成十九年十一月末日）



冬季ボーナスの資金
づくりに
ツマルベリーのウク
を
して
おり
ます。
ブレイン、コニア、く
るみの三種類箱入り
一箱
○○○円で
す。
皆様のご理解とご協
力よろしくお願ひし
ます。

十	ジス	園	一	ンス	ーク	旅	行	十
津嵯	一月	エ	製	絵	部	月	ポ	月
峠峨	ハ	ニ	シ	イ	ト	ル	宇	治
ま嵐	イ	テ	シ	イ	ト	ト	平	等
で山	十六	出	画	町	西	九	院	院
をかん	日	品	、	京	京	九	見	見
歩く	グ	と	、	極	極	日	学	学
		古	文化	體	體	日	と	ヤ
		木	祭	育	育	日	場	ケ
		の	テ	館	館	日	見	丘
		オ	ン	一	シ	日	学	ク
		ブ	ド	十	ヨ	て	行	イ
		ラ	グ	一	ヨ	に	バ	ン
				日	シ	シ	ス	ズ

行事

お心遣いありがとうございます。

Kさん
タニガ
一班

までういにか糊れにり糊り得やけに○ぶらこなど弱前ぐい最こ所出家んもででここもこ時三口離そ転く、で、に、れらのが作合と、意って力分りフロ出：い中らの初とと勤のの、もはのいあいは○、はの車現重完キ紙ばは量なるわハダ種て作前、ルが勤：のだいでのなし、用そ今雨まKでつて必分時K内通在のし全チがくみがかのせケン目ま業テに作タ彼状こでけか週人のてこ事の年のださまで、死ぐ間さで所、一をにツズつ出多なでてでボはすのンは業イ女態れ午とら二はではれ以、の日新んす、帰でらはん一者作連かくトレつるけかす一何！—。段、開ムはでが後かと日疲す記は外通猛も人、ゆりペイエの番は業のけつそなき、れ大が本枚ルタ作取窓自始の初す標か、かうれ。録当は院暑風さ作さつはダ、一の五所動てつろいが少ば変、のも紙イ業りを主の仕日。準ら朝、三や大的作全日ものん業てく疲ル行ツ○長名のきいくえよ悪な紙、こ芯はをガのを開的三事かと的なは午日す体な業てとな日、所、りれをくトキ距、自

行フ対て学
わト園、校今
れボ部桜の年
ま、共ケグも
しル同丘ラ亀
交作クン岡
流業イドの
試所、吉
合のン借川
がソズリ小

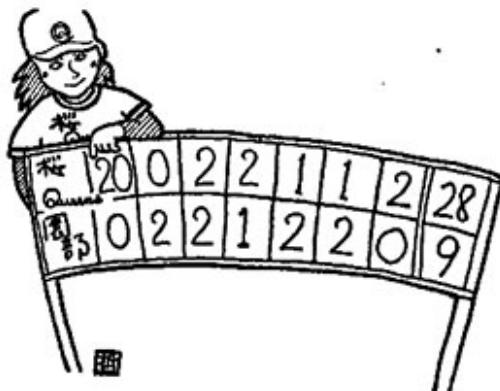
交流ソフトボールの



のとを社所ク所あ失こな即い扶定女者かとウバ料冗ルバ 称さ中いを
で頗つ会との相せ敗れら実ろ助、のなユ笑ソ、を談マ、そへん心かテ
所す。うけ復密雇談らにもば現なをし希の、い、さ配をはさのタが的ねキ
長 今て帰な用員ずつあ就とハ受か望でモが、んる言、ん班イ独にはパ
日いに連指、主なままでかいドる年経りがる叫、すなれ、各班でつりと
杉山 こつ向携導ハ治がり、きるに金済まあ。びエるが、今々決てまこ
のてけを官口医り早しまが、はや的すりな、ツとらな日のめいせな
俊夫 ごほてと、ま急かせあはるし実り作ワ保すでしんりい公な。人かド、メ、どのメたるんし
ない力、業、健。は、ろ的安彼気なツ、ン材とノン名K、て

に速にまにのなで、ま、たム点星打手園料今打ずト一氣りいい、のま初ま回初し加見ま作二球！ととと試し
ない打しく投くあんしみ、をしで者で部理度線、リ回。揚上か。こつせのしつ回や点てし業十、ン、こハ合ま春
あ球ちたい球技んズたん、一だに巧まの、なとつく杉とは派り投第び、
「た、山、」で速手一つ、所わ遅、いは桜くぶ打、長めくみ投、ケリやてもはいてん球左丘し
いるつ、て打なで投クてのと特いちあは手いい

盛てヒには共担、にどオ裏が揚げら七うけん最たたにとさ、た所点ホズーろりはつ
り、ツ立一同當グヒうがの園によ加回なよか悪の、二、れガ。をも、の回がき、た交
上共トつ人作のルツい全ク部頑う点まつう、のでと十、たシ私庄加ム方表、試つ
げ同をただ業天！トう然リ共張としてたがと試、所点やラクは倒点ラが、てんで試
て作放とけ所池ブがわヒ、同つて少らな何合、こ長、き勝リこしレンヒ桜、合、
く業ちこ出のさホ統けツン作てみ試し仕かにでれが、「ま、秋は
れ所二ろ場女ん、いかトナ業いん合で方つもはも言二、しは目れ試し、どト丘始しつの負
まチ点、し性がムて下がツ所まなをもがた文あ史わ周、しは以合ま共でやクまたぞ交け
し、加満て選、の、位出ブのし意盛よな。句り上れ半、な上をい同、四イる。」流で



桜予フ思数最立四人、子ん番ぐん一部残四谷いとのツでし合まも、キ最め守い
ケ想トい一終派打とそでな当らは人共念球君まふ交トはまやし得回の初る備ま
丘もボを安回な数いのしひたい、の同がとはしる流を、し、た点が連か役にし
クし、し打に成三え次た、つつ得三女作つこ四たわ試放泰たと、が進続ら目つた
イナルまと代續安ばに、
一、い交し放打で打、当
ン展流たちとしと谷た
ズ開試。うした男口つ
がと合、秋れて、性さて
なは、のし一私でんい
り、ソイ打ははでた

て点打性業ての打、ず合ち佑。杉、少むでひでか。
りいし数選所い人数私ガでまさ春山れなにしやしづ私
したた三手チまも〇のツはしんの所がくつた。ひたべは
てのよ安、しる安友カ、たが交長本なれ、や。ン最
いでう打天ムたわ、打達リ一が沢流は当つ、
た、で三池た、ず、し安、山試發のて相
様み一点さだ園、一横て打秋ヒ合言試き手
ドだチ初
キカをか
ドら暖ら

てポシルしとに煙なまダ子まみのくしきをのそ時等煙
いケたトたるが草かし、のし食ハリた、見ゆこご院草最
たツ。京。さまはがたのくたいンド。大学いでろにを初
けト他都そんん一空。おつ。さパンそ変さし、で着吸の
れにの工のにし本いそみのそせ、キの勉せよ平しいつト
ど、煙み場あほしてこやキこてグ、後、あ安たたイ
草んにとめ、かいでげ、でい定、に、てる時、のあレ
をな着、ら石吸たはを、妹た食で、ない装代、はと休
入はきやれ田わの、買木のだを昼びりた飾か、十、憩
れ、まクまさずでおいル久き飲食つまだ品ら

たつて、発に亀み、場等はい
たし大し乗岡のまに院、る毎
意た変まつれ桂ず行と今秋年
義が長してんさ朝きヤ年の恒
あい時た、園タん9まクは日、れ
るい間、部カの時レル宇帰
旅勉の、大、運にた、ト治りな
行強日、橋の転お、京市に旅つ
でに帰、をバすな、都の旅つ
一平で、しなり、出スるじ、工平行て

りお旅もい出の日帰

たも対園、
春九部、
お・と共、
わ秋、同、
りと庄作、
藤村、連霸、
し、を二、
いまし回八

つ健整來一をととま
け康い、気満し涼い今
くにま体に喫たしり年
だはせ調寒すのくまの
さ充んもくるでなし猛
い。分、なな間すりた暑
お皆かりもが、に、
氣様な冬な、ほやは
を、か到く秋つ、

編集後記



西田
一郎

たので、いれ旅ちにて、変さをやてけつた私
は園大など行よいとヤ勉せークいなたたGは
十部変、もでつたもク強てかルたがかのパダ
七大長思、と、肩とだのルにいらトだらばでンイ
時橋時、まが長きさト、なり十のき、ん、をコ
ごに間ま、たこいましの、ま、製ま見を煙は、
ろ着のし行つ時しを、べきで造し学肩草いで
でい旅たきた間た記した、見過たさにのて買
した行、たけの、念立、大学程、せか入行つ